

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市宮河内ハイランド 14-16
団体名 高齢者体力づくり研究会
代表者氏名 石橋 健司
電話番号 097-528-1610
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 5 条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 転倒予防教室

2. 事業の概要 地区の高齢者を自治公民館に集めて転倒予防教室を開催する。その目的は、高齢者が、自分自身の健康や体力について関心を持ち、これからの生活の質を向上させる意識を高めることにある。教室の内容は、高齢者の健康や体力に関する講話と、転倒予防体操の実施である。

3. 事業費 110,000 円

4. 交付申請額 80,000 円

5. 概算交付 ☐ 概算交付を希望する。
☒ 概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書(様式 1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式 2)
(3) 収支予算書(様式 3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式 4)
(5) 誓約書(様式 5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3 月の第 1 回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) こうれいしやたいりょくづくりけんきゅうかい 高 齢 者 体 力 づ く り 研 究 会				
住 所	〒870-0275 大分市宮河内ハイランド14-16				
代表者氏名	(いしばし けんじ) 石 橋 健 司		FAX (団体)	無	
電話 (団体)	無		E-mail (団体)	無	
設 立 年 月 日	平成 20 年 4 月 1 日	ホーム ページ	無	団体構成員数	3 人
活 動 の 分 野 ※別表参照	主分野 (1つ)	1	その他の 分野	2, 3	
連 絡 責 任 者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☒ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	転倒予防教室を自治公民館において開催し、高齢者の健康・体力の維持向上に役立つ知識を提供し、健康体操を実施することが、活動の目的である。				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	令和 4	転倒予防教室		4 回	80 名
	令和 5	転倒予防教室		4 回	97 名
	令和 6	転倒予防教室		4 回	約 90 名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助 (委託) 元	補 助 事 業 名		金額
	令和 4	大分市	1 %応援事業		80,000 円
	令和 5	大分市	1 %応援事業		80,000 円
	令和 6	大分市	1 %応援事業		74,588 円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1%応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
転倒予防教室	自治公民館を巡回して転倒予防教室を開催	9月から2月ごろ	各地区の自治公民館	80	4	110
小計					4(a)	110(c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
なし					0	0
小計					0(b)	0(d)

合 計	(a)+(b) 4	(c)+(d) 110
-----	--------------	----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b) 100%(A)	(c)/(c)+(d) 100%(B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A)+(B)}÷2 ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

事業名	転倒予防教室	
事業内容	主な対象者	大分市川添地区などの高齢者
	内容	川添地区の自治公民館に集まった高齢者を対象に、転倒予防教室を開催する。 内容は、一部：健康や体力に関する講話、二部：転倒予防の体操の実施で、およそ平日の午前中約2時間のプログラムである。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月）	内容
	8月～	講師と打ち合わせ、講話や体操の教材作成 自治公民館と開催に関する折衝
	9月～2月	転倒予防教室（1）を開催 転倒予防教室（2）を開催 転倒予防教室（3）を開催 転倒予防教室（4）を開催 年によっては、実施回数は変動する 反省会
広報計画・方法	☐ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☐ facebook 等の SNS ☐ その他（具体的に）	
※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	地区の老人会、いきいきサロン、自治会、自主クラブなどの担当者に、転倒予防教室開催を広報、折衝する。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	自己収益金の内訳は、会員や受益者からの寄付や募金であり、現在の金額（3万円）から大幅な拡大は厳しいが、引き続き、以下の事項について努力する。 ①転倒予防教室の開催時に、参加者へ寄付を呼びかける。 （教室参加費は徴収していない） ②協賛の獲得を検討する。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	① 引きこもりがちな高齢者が、公民館で楽しい時間を過ごすことができる ② 高齢者が、自分の身体について知識を獲得できる ③ 高齢者が、運動を行う機会を獲得できる ④ 高齢者が、日常的に運動を行う意欲を獲得できる	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名： 転倒予防教室

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	80,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	0	
事業収入	0	
寄附金収入	30,000	
その他	0	
合計	110,000	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	84,000	講師(教育関係), 講師(専門的知識), 有償ボランティア
旅費	2,000	講師の公民館と自宅間の交通費
消耗品費	24,000	コロナ対策消耗品, プリンターインク, 用紙外
燃料費	0	
食糧費	0	
印刷製本費	0	
通信運搬費	0	
広告料	0	
保険料	0	
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費	0	
合計	110,000	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。